

《大腸癌肝転移における後方視的予後解析》

- (1) 対象:2015年1月1日から2016年12月31日までに、当院において大腸癌肝転移に対して肝切除術を施行した症例
- (2) 研究組織代表者名:大阪大学消化器外科共同研究会 大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 教授 土岐 祐一郎、江口英利
- (3) 当院 研究責任者:市立吹田市民病院 外科 主任部長 岡村 修
- (4) 目的:大腸癌肝転移のうち肝切除を施行した症例において、無再発生存期間および全生存期間に関する予後因子の同定を行うことを目的としています。
- (5) 方法:患者基本情報(性別、生年月日等)、原発巣総合情報、原発巣病理情報、原発巣術後補助化学療法情報、肝転移診断時情報、肝転移切除前治療情報、肝転移化学療法前情報、肝転移手術前情報、肝転移手術情報、肝転移巣病理情報、肝切除後補助療法情報、予後情報などを診療記録で収集します。生存期間、無再発生存期間に関する因子を検討します。
- (6) 意義:本研究において、切除可能な大腸癌肝転移における予後因子の解析を行うことにより、今後臨床研究を行う際に、治療対象集団の決定や、治療レジメンや期間の決定などにつながることを期待できます。大腸癌肝転移患者さんの治療成績向上につながると考えられ、本研究の社会的意義は大きいと考えられます。
- (7) 個人情報の取り扱い
研究対象者のプライバシーは厳重に守られ、また、その他人権に関わる事項についても十分な配慮がなされます。本研究の登録の際には氏名やカルテ番号等の個人情報の匿名化を行うため、研究対象者の名前や個人情報が特定・公開されることはありません。収集した臨床情報に関しては、個人情報の保護に細心の注意を払い、情報の漏洩、紛失、転記、不正な複写などがないように研究を実施します。
- (8) 問い合わせ先:
市立吹田市民病院 外科 主任部長 岡村 修
TEL:06-6387-3311(代) 受付時間:9:00~17:00(祝祭土日・年末年始は除く)
- (9) 研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法
本研究への情報提供を拒否される方は遠慮なく上記問い合わせ先まで申し出て下さい。